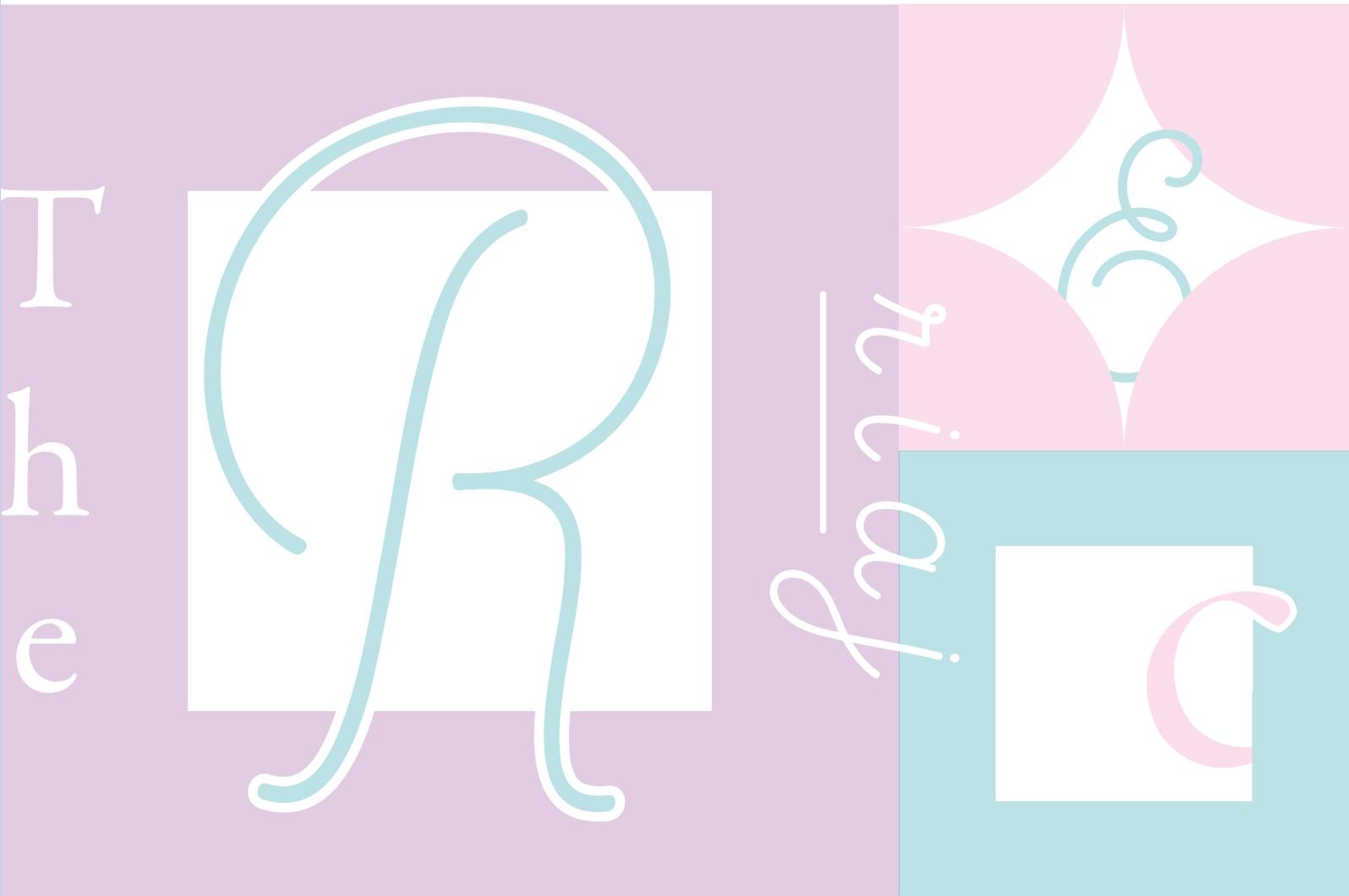


vol.  
704

The  
Record

2018 July  
7



| 平成 29 年度事業報告

| 著作権法の一部を改正する法律の概要について



7

July

CONTENTS

1 Monthly News Digest

**特集**

3 平成29年度事業報告

**特報**

7 著作権法の一部を改正する法律の概要について

9 レコーディングスタジオ体験学習を実施

10 サンプル盤・見本盤の回収～処理まで

11 OTOTEN開催

12 私の一枚 season 2

13 Monthly Production Report

14 GOLD DISC

# Monthly News Digest

## 5/16 Wednesday

### IFPI中央理事会開催

5月16日、ドイツ・ベルリンにおいてIFPI(国際レコード産業連盟)中央理事会が開催された。

中央理事会は、IFPIフランス・ムーア会長を議長とし、メジャーレーベル代表、インディーレーベル代表、主要国のレコード産業団体代表らによって構成される会議であり、今回はIFPI事務局を含め22名が出席した。当協会からは重村会長の代理で畑理事・事務局長が出席している。

会議では、各国のマーケット状況や業界が抱える課題等について議論され、そのうち市況については、4月25日発行の「Global Music Report 2018」で公表された2017年の全世界音楽セールスおよび使用料収入等の実績に加え、主要マーケットの第1四半期市場動向等について報告があった。2017年は、全世界でストリーミング音楽配信の売上が40%強増加し、全体の38%を占める最大カテゴリーになるとともに、パッケージやダウンロード販売の落ち込みをカバーして全体で8.1%のプラス成長に引き上げた。

IFPIが取り組む「バリューギャップ」問題については、2016年9月に公表された「EU著作権指令(EU Copyright Directive)」の改正案において、大量のユーザーアップロード・コンテンツを提供し、かかるコンテンツの利用促進に

能動的に関与するプロバイダは法的責任を負う(免責規定の適用対象から除外する)とともに、削除された侵害コンテンツが再度アップロードされないための措置を講じる義務等が盛り込まれた。これを背景に、会議においては、本改正案に関する欧州議会の委員会における検討状況やEU加盟各国のポジション等が説明され、IFPIでは今後も働きかけを継続することが確認された。

なお、その後5月25日に開催された欧州理事会(EU加盟28カ国の政府代表で構成)において本改正案は一部修正をもって承認され、欧州議会との調整協議に付されることが決定している。IFPIによると、年末から来年初頭にかけて採択の可否が決する見込みという。

その他の議題では、日本からは、柔軟な権利制限規定を含む今後の著作権法改正、レコード保護期間延長等の施行日に関するTPP整備法の改正、政府主導によるサイトブロッキング実施に向けた動きについて説明した。

なお、次回開催は、今年11月を予定している。



## 5/24～25 Thursday Friday

### IFPIアジア・太平洋地域会議開催

5月24、25日の二日間、タイ・バンコクのインターコンチネンタル・バンコクにおいて、IFPI(国際レコード産業連盟)アジア・太平洋地域会議が開催され、当協会から著作権保護・促進センター(CPPC)の末永センター長が出席し



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です



た。本会議は、IFPIアジア地域事務所が毎年主催しており、今回はアジア・太平洋地域11カ国・地域のIFPI支部およびレコード使用料徴収団体、RIAA（アメリカレコード協会）、ならびにIFPIロンドン本部、IFPIアジア地域事務所から49名が参加した。

会議では、冒頭、IFPIロンドン本部が国際レベルで取り組む重点テーマや、グローバルおよびアジア地域の2017年の市場状況等に関する説明があり、続いて、重点テーマに即し、参加各国から取り組み状況等について説明があった。オンライン上の違法対策や統計調査、法制度、レコード使用料徴収分配等のテーマについて現状と課題が共有され、アジア・太平洋各国が抱える諸課題について意見交換が行われた。

日本からは2017年度の違法対策および違法の蓋然性が極めて高いウェブサイトへのアクセス遮断措置（いわゆるサイトブロッキング）導入への国内における検討状況について報告を行った。

## 5/30 Wednesday

### 「VIPOアカデミー」で 畑理事・事務局長が講義

5月30日、東銀座の特定非営利活動法人 映像産業振興機構（VIPO）会議室において、「VIPOアカデミー 業界研究ベーシックコース」（第5期）の第3回セミナーが開催された。

本コースは、コンテンツ業界の若手社員が各コンテンツ業界の最新動向・展望と取組事例を学ぶことにより、ジャンルを超えたコンテンツビジネスを展開できる人材を育成することを目的に同機構が継続開催している講座である。今期第3回となるセミナーは“音楽業界攻略セミナー”と題し、様々なジャンルのコンテンツ企業から20名の若手社員が参加して開催された。

第1部の業界分析の講義では当協会の畑理事・事務局長が講師を務め、「レコード産業の構図と現状」と題し、レコード産業の概要やレコードビジネスの国内外の現状および課題、それに対する取り組み等について説明した。第2部の事例研究では、株式会社レコチョクから新規音楽サービスの立上げにまつわるストーリーや理念等が、また、株式会社ワーナーミュージック・ジャパンからはヒットを生み出す取り組みや成功事例等が紹介された。その後、受講者はいくつかのグループに分かれ、音楽無関心層に対する効果的アプローチ等のテーマについて議論するグループワークが行われた。

受講後のアンケートでは、他ジャンルのコンテンツ業界の現状や課題、現場の取り組み事例などを学習することができ、非常に有意義なセミナーだった等の好評価が寄せられた。

次期ベーシックコースは今年秋季に開講される予定となっている。



## 当協会役員人事

### ■新任（6月15日付）

[理事]

安岡 喜郎

株式会社バップ

代表取締役 社長執行役員

### ■退任（6月6日付）

[理事]

花房 秀治

株式会社バップ

代表取締役 社長執行役員

## Coming Next Artists情報

### 音楽ナタリー更新中

音楽ナタリー内では、新たに以下の特集記事、コラムが公開中です。是非ご覧ください。

#34

#### Runny Noise

（よしもとミュージックエンタテインメント）  
パーソナリティ / 菅野結以

#35

#### みやかわくん

（ユニバーサル ミュージック）  
パーソナリティ / 須賀健太



Coming Next Artists（音楽ナタリー内）  
<https://natalie.mu/music/pp/comingnextartists>

# 平成29年度事業報告

平成29年の市況を振り返ると、オーディオレコードの年間生産金額は前年比98%の1,739億円と健闘し、とりわけアナログレコードの生産数量が16年ぶりに100万枚を超える等の実績を残したものの、音楽ビデオの減少により音楽パッケージソフト全体（オーディオレコードおよび音楽ビデオの合計）の年間生産金額は前年比94%の2,320億円に留まった。一方、音楽配信の売上金額はアルバムダウンロードとストリーミングサービスが大きく伸長し、配信市場全体では前年比108%の573億円と4年連続で増加した。この結果、音楽ソフト（オーディオレコード＋音楽ビデオ）の生産金額と音楽配信売上の合計は前年比97%の2,893億円と前年を下回った。このような厳しい業界環境が続く中、当協会では、平成29年度より担う役割を3つ（①業界の収益を「伸ばす」、②違法を「なくす」、③レコード産業からのメッセージを「伝える」）に整理し、優先度を付けて以下の事業を推進した。

## 事業活動

### [1]レコードの普及に関すること

#### 1. 「音楽CDの再販制度」の維持

- (1) 会員各社の再販弾力運用の取組みを報告書にとりまとめ、3月に公正取引委員会へ提出し、当協会ホームページで公表した。
- (2) ユーザーサービスの一環として実施しているインターネット廃盤セールを、1月11日から1月23日の間実施した。

#### 2. 新人アピールを主軸とした業界広報の強化

7月より音楽ナタリー内に特集ページ「Coming Next Artists」を開設し、新人アーティスト27組の取材記事や音楽の楽しみ方、レコード会社の仕事を紹介するコラムを公開した。また、ページ連携施策として、掲載アーティストのプレイリストを7つのサブスクリプションサービスで展開するとともに、CDショップでの特設コーナー展開やカラオケBOX等での対象アーティストの歌唱施策を実施した。

#### 3. 需要喚起事業の展開

##### (1) CDショップ大賞への協賛

「第10回CDショップ大賞」（主催：全日本CDショップ店員組合）は、CDショップ店員955名の投票により受賞作品（大賞：米津玄師／準大賞：PUNPEE、台風クラブ）が選出された。3月8日の授賞式の模様は主要なテレビ・ラジオ・新聞、Webニュース等で取り上げられた。また、主要販売チェーン店でコーナー展開を実施した。

##### (2) 「Music Jacket Gallery」への協賛

「Music Jacket Gallery 2017」（主催：Music Jacket Promotion Committee）は、11月3日から3日間、新宿高島屋1階特設会場にて開催され、来場者は3,948名となった。豪華特殊パッケージやアナログレコードの展示に加え、高音質CD等の試聴コーナーなどが設置され、更にアーティストや業界関係者などによる全13コマのトークセッションも実施した。また、PR面では東洋化成が実施する「レコードの日」と連携し、ポスターやSNSなどによる告知強化を図った。

##### (3) 新規の需要喚起施策「Music Week(仮)」について

11月3日（レコードの日・文化の日）を挟む1週間を「Music Week(仮)」とし、これまで各団体等が個別に行ってきた各種音楽関連のイベント等を渋谷にて同時期に集約して実施する企画を立案し、9月度理事会での承認を受けて実施に向けた準備を開始した。

#### 4. 日本ゴールドディスク大賞の実施

第32回となる「日本ゴールドディスク大賞」各賞を2月27日に発表し、テレビ9番組のほか、新聞各紙、Webサイト等で多く取り上げられた。

#### 5. 日本音楽の海外展開の促進

会員各社の海外展開を支援する施策は、今年度から一般財団法人音楽産業・文化振興財団（PROMIC）に一本化して、下記施策の実施を支援した。

- (1) 音楽産業・文化振興財団(PROMIC)主催「第14回東京国際ミュージックマーケット(TIMM)」(10月23日～25日開催)への運営支援を行った。TIMMへの総来場者数は5,211名、ブース出展数は35社・団体、来場した海外バイヤーは約100名(15ヶ国・地域)で、商談件数は377件、うち成約件数は86件だった(交渉中を含む)。
- (2) PROMICが運営するアニソンに特化した海外向けBtoBオンラインサイト「Japan Anime Music Lab」が2月5日にオープンし、登録アーティスト数144組、登録レーベル・企業数16社となった。

## 6. RIAJセミナーの開催

会員社を対象に計5回(①4月7日「新入社員合同研修会」、②7月12日「労働法関連の諸問題について」、③10月19日「ISRC運用に関する説明会」、④12月7日「拡大集中許諾について」、⑤2月6日「音楽メディアユーザー実態調査」報告会)開催した。

## 7. その他

- (1) 「Music J-CIS(Music Japan-Copyright Information Service) 協議会」の構成団体として活動を行った。音楽権利情報データベースを充実させるため、今年度発売新譜等の楽曲情報取り込みを実施した。その結果、今年度末時点での収録楽曲総件数は約520万件まで拡大した(前期末約503万件)。
- (2) 今年度文化庁「コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業」に関して、当協会は、本事業の実施主体として設置された権利情報集約化等協議会に構成団体として参加した。本事業において、2月に音楽権利情報の検索ポータルサイト「音楽権利情報検索ナビ」を構築・公開し、著作物の適法かつ円滑な利用の促進における有用性と課題を検証した。

## [2] レコード等に関する調査研究およびデータの収集

### 1. 市場調査、産業統計の充実

音楽パッケージソフトの月別生産実績並びに四半期毎の音楽配信売上実績を集計し公表した。

### 2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

「2017年度音楽メディアユーザー実態調査」を実施し、会員社向けに報告会を開催した。本年度の調査内容は、ユーザーの音楽利用実態の推移や音楽消費の変化に関する定点観測のほか、「有料聴取層の購入動機に関する調査」および「ウェブメディアにおける音楽情報の認知経路に関する調査」を特定テーマとした。

## [3] レコードを通じた音楽文化の保存に関すること

### 1. 文化庁芸術祭への協力

「第72回文化庁芸術祭」のレコード部門申請窓口として55作品を参加申請し、参加が承認された33作品の中から芸術祭大賞1作品、優秀賞3作品が選出された。

### 2. 日本プロ音楽録音賞の共催

優秀な音楽録音作品を選定し、その録音エンジニアを顕彰する「第24回日本プロ音楽録音賞」を、当協会と日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、日本オーディオ協会および演奏家権利処理合同機構MPNにより共催し、12月6日に授賞式を開催した。

## [4] 著作権および著作隣接権等の普及・啓発に関すること

### 1. 違法音楽配信を撲滅するための対策の強化

- (1) 動画共有サイト、ストレージサービス等に対する違法アップロードファイルの削除要請件数は年間約69万2千件となった(前年度約78万4千件)。
- (2) 海外サイトへの削除要請については、国際レコード産業連盟(IFPI)の探索システムも併用して、ロシア等の違法な海外サイトへの削除要請を実施するなど、探索対象を拡大して対策の強化を図った。
- (3) スマートフォン向けアプリマーケット運営事業者に対する有害アプリ削除要請を継続実施(App Store: 43件、Google Play: 2件)した。
- (4) 音楽ファイルの違法アップローダーや海賊版の頒布者に対する告訴件数は12件であった(前年度実績15件)。
- (5) 「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」(CCIF)が実施するプロバイダを通じた違法P2Pユーザーに対する啓発メール送信スキームを継続し、今年度は634件の啓発メールを送信した。
- (6) P2Pファイル共有ソフトの悪質利用者について、プロバイダに対し発信者情報開示請求および同訴訟提起を行い、発信者情報が開示された利用者と損害賠償支払い等による和解交渉を行い、38名と合意した。

### 2. 著作権教育活動の実施

#### (1) 大学寄附講座の開設

若年層のレコード産業・著作権制度への理解を深めることを目的とした大学寄附講座「情報化社会におけるクリエイティブビジネスと著作権」(全15コマ)を、

今年度から国立大学法人電気通信大学で開講し、各回平均約320名が履修した。

- (2) 中高生の会員社および当協会への職場訪問・出張授業対応実績は、240校2,676名となった。
- (3) 音楽が制作される過程を学び、さらに上質な環境で音楽を体感する機会の提供を目的として、中高生を対象としたレコーディングスタジオ体験学習プログラムに、6校69名の学生が参加した。
- (4) 文化庁主催著作権セミナーや自治体主催イベント、NTTドコモ主催「スマホ・ケータイ安全教室」等において、当協会の啓発リーフレット102万3千部を配布した。

### 3. 環太平洋パートナーシップ(TPP)協定が定める著作権関係事項の実現を求める活動

アメリカのTPP離脱に伴い改正著作権法の施行が不透明な中、レコード保護期間延長等の早期実現を関係省庁等に働きかけを行った。11月、アメリカを除く11ヶ国でTPPを発効させる大筋合意(TPPイレブン)が整い、日本・EU間の通商交渉合意と相まって、改正法施行の見通しが立った。

### 4. クリエイターへの適切な対価還元制度の整備を求める活動

音楽権利者団体と連携し、著作権分科会傘下の小委員会における検討に参画しクリエイターへの対価還元の必要性を重ねて主張し、「補償金制度を基盤とした対価還元が現実的」との方向性で審議経過報告書が取りまとめられた。

### 5. レコードの業務上の演奏利用から適正な対価が還元される法制度創設に向けた活動

海外の関係権利者団体と連携し、関係省庁等に対して制度創設の要望を行った。

### 6. 動画投稿サイトに係る法的ルールの見直しに向けた活動

「知的財産推進計画2017」の策定に関する意見書において、プロバイダ責任制限法の見直し検討を要望した。

## [5] レコード等に関するデータの公表

### 1. 出版物の刊行

月刊機関誌「THE RECORD」を発行し、会員社、関係団体、官公庁、マスメディア、業界関係者などに配布した。また、日本のレコード産業の年間統計資料集として「日本のレコード産業2018」を和文、英文で制作した。発行

および当協会ホームページ上での公開は平成30年4月。

### 2. ホームページの運営

当協会の活動とレコード産業に関する様々な情報を幅広く提供した。

## [6] レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

### 1. 放送二次使用料収入の安定的確保

- (1) 今年度の二次使用料について、NHKは16億9,000万円(前年比2.7%増)、民放連は39億5,700万円(前年比1.0%増)で確定した。  
その他、民放連(BSテレビ)・衛星放送協会(スカパー)・USENについても、それぞれ今年度以降分の協議が整った。
- (2) 二次使用料・複製使用料等の徴収額の合計は77億円(前年比3.5%増)、権利者分配額は72億6,100万円(前年比3.6%増)となった。

## [7] レコードに関するレコード製作者の複製権、譲渡権および送信可能化権等ならびに実演家の送信可能化権等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

### 1. 放送番組のネット配信にかかる集中管理に関する取組み

- (1) 「AbemaTV」におけるテレビ放送番組配信について協議を行い、全配信番組におけるテレビ放送番組の割合を踏まえた金額で合意した。
- (2) ラジオ放送番組のオンデマンド配信およびネット独自の放送型配信について、6月に「集中管理検討プロジェクト」を設置し、集中管理事業化の適否等について検討を行い、3月の理事会に答申した。

### 2. 教育・文化・プライダル分野のレコード利用集中管理事業の推進

- (1) 4月よりプライダル集中管理事業を開始し、今年度の使用回数は115,850回、徴収額は、2億1,400万円となった。
- (2) NHK放送コンテスト・バトントワーリング大会に係るレコード複製について、今年度の許諾件数は1,190曲(前年比130%)、徴収額は900万円(前年比113%)となった。

### 3. 放送番組の海外展開に係る原盤権処理効率化の取組み

今年度より、民放連・NHKともに放送プランケット使用料に加算することで合意した。

## [8] レコード製作者に係る商業用レコードの 公衆への貸与に係る報酬等に関する 権利行使の受任、金額の取り決めならびに 徴収および分配

徴収額は14億3,400万円(前年度比29.7%減)、権利者分配額は12億7,800万円(前年度比31.0%減)となった。

## [9] 私的録音補償金に関する指定管理団体の 構成員としての業務ならびにレコード製作者に 係る当該補償金の受領および分配

私的録音補償金管理協会(sarah)から1,000万円(前年度比32.1%減)を受領し、800万円(前年度比39.3%減)を権利者に分配した。

## [10] その他

### 1. 政府の審議会等への委員派遣および 経済団体への参画等

文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見の表明を行った。

### 2. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体並びに国際レコード産業連盟(IFPI)およびアメリカレコード協会(RIAA)等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を実施した。

### 3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営

月次会議にて、会員社から発売された全邦楽作品9,341点について審査を行った。

### 4. 業界規格(RIS)の制定と改正

日本レコード協会規格(RIS)504別冊「各種コード一覧表」(2017年10月版)を発行した。

### 5. “ISRC”(International Standard Recording Code)の 管理機関としての活動

今年度は、登録者コードの新規発行件数が30件(前年度31件)、個別コードの発行曲数が15,703曲(前年度15,799曲)となり、その結果、平成30年3月末時点の累計は登録者コード発行件数が1,810件、個別コード発行曲数が212,492曲となった。

### 6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

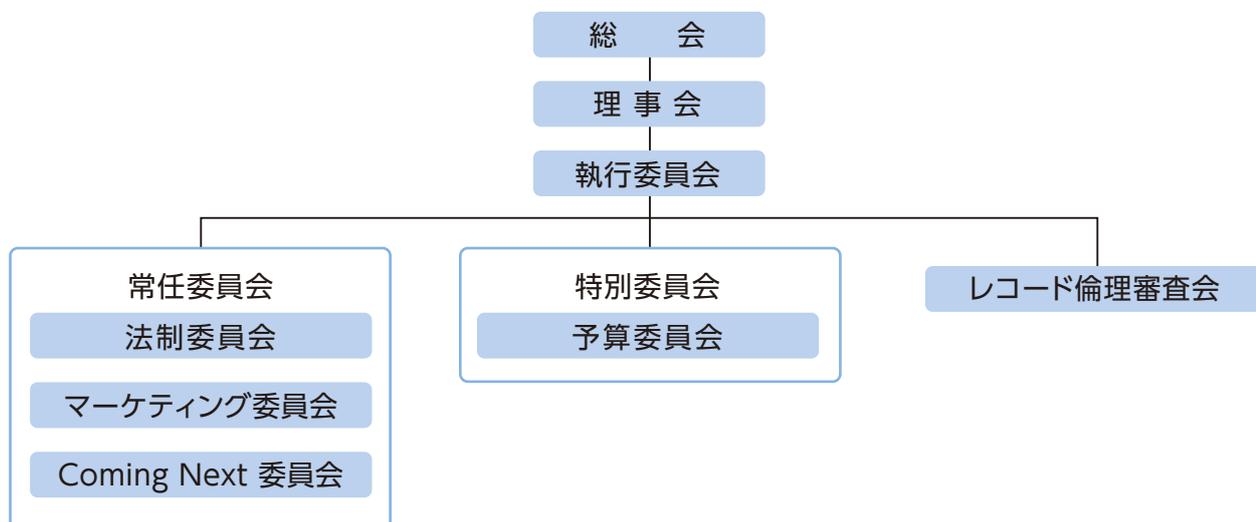
今年度(第55回)は、8,932枚の音楽CDを福祉施設140箇所、東日本大震災被災地、熊本地震被災地および九州北部豪雨被災地の臨時災害放送局7局並びに東日本大震災被災地の図書館96箇所へ寄贈した。

### 7. 会員社業務の集約化(シェアードサービス)

平成28年度にシステム整備を行った著作権管理事業者NexTone社に対するEDI(電子データ交換)について、会員社およびNexTone社と連携して運用上の諸課題を整理した後、7月から本格運用を開始した。これにより、会員社からの録音等許諾申請の効率化に貢献した。

## 運営体制

平成29年度における当協会の運営体制は次の通りである。



# 著作権法の一部を改正する法律の概要について

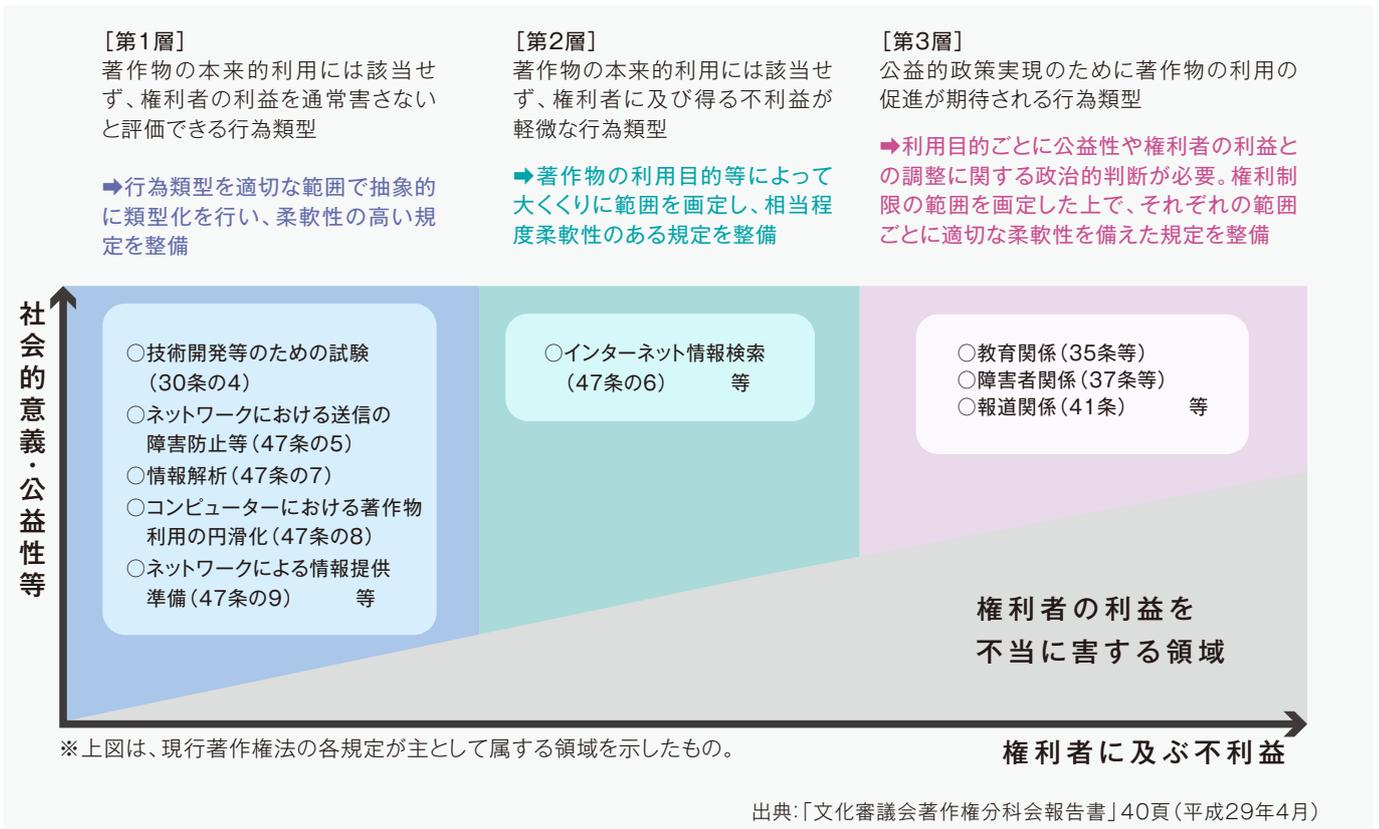
文化審議会著作権分科会での審議に基づき、内閣提出法案として取り纏められた「著作権法の一部を改正する法律案」が、5月18日に可決・成立し、5月25日に法律第30号として公布された。施行日は2019(平成31)年1月1日(後掲2.の改正事項については公布日から3年以内において政令で定める日)とされている。以下では、柔軟な権利制限規定の整備を中心に改正法の概要を紹介する。

## 1. デジタル化・ネットワーク化の進展に対応した柔軟な権利制限規定の整備(第30条の4、第47条の4、第47条の5等関係)

### (1) 法改正の検討経緯

デジタル化・ネットワーク化の進展に伴う著作物利用の円滑化方策として、著作権法は2009(平成21)年の法改正によりインターネット情報検索等に関する権利制限規定を整備し、続く2012(平成24)年の法改正では、付随対象著作物の利用(いわゆる「写り込み」等)などに係る権利制限規定を都度拡充してきた。しかし、その後もクラウドコンピューティング技術等を活用したサービスについて権利制限規定の整備を求める意見が寄せられ、文化審議会著作権分科会では、米国のフェアユース規定のような一般的・包括的な規定導入も含めて効果・影響の分析が行われた。その結果を踏まえて2017(平成

29)年4月に取り纏められた「文化審議会著作権分科会報告書」では、情報通信技術が急速に発達し著作物を取り巻く環境変化が目まぐるしい状況を受け、個別権利制限規定の創設によることなく、明確性と柔軟性の適切なバランスを備えた複数の規定の組合せによる「多層的」な対応を行うことが適当であるとされた。具体的には、権利者に及ぼす不利益が少ない【第1層】【第2層】について、柔軟性のある権利制限を整備し、【第3層】は、「私益(権利者の利益)」と「公益」との調整に関する政策判断を要するため、一義的には、利用の目的ごとに民主的正当性を有する立法府において制度の検討を行うことが望ましい、と判断された。



<p><b>【第1層】</b> 権利者の利益を通常害さないと評価できる行為類型(コンピューターの内部処理のみに供されるコピー等、セキュリティ確保のためのソフトウェアの調査解析等)</p>	<p><b>【第2層】</b> 権利者に及び得る不利益が軽微な行為類型(所在検索サービス[*1]、情報解析サービス[*2])</p>	<p><b>【第3層】</b> 著作物の市場と衝突する場合があるが、公益的政策実現等のために著作物の利用の促進が期待される行為類型(翻訳サービス、教育関係、障害者関係サービス等)</p>
---	--	---

[\*1] 著作物の所在を検索し、その結果と共に著作物の一部分を表示するサービス。具体例として、書籍検索サービス、テレビ番組検索サービス、街中風景検索サービス等がある。  
[\*2] バックエンドでの情報の収集・蓄積を行うとともに、分析結果の提供のため、結果提供に必要な限度での著作物の表示を行うことが想定されており、具体例として、論文盗用検証サービスがある。

## (2) 新たに整備する「柔軟な権利制限規定」

今回の法改正により整備されることとなった「柔軟な権利制限規定」は下表のとおりである。権利者の利益を不当に害することとなる場合を除き、その必要と認められる限度において、利用方法は限定せずに利用すること(第2層においては軽微な利用)ができる。

	新設される権利制限規定	権利制限対象となる行為類型
第1層 (権利者の利益を通常害しない行為類型)	著作物に表現された思想又は感情の享受を目的としな い利用(新30条の4)	① 著作物利用に係る技術開発・実用化の試験 ② 情報解析 ③ ①②の他、人の知覚による認識を伴わない利用
	電子計算機における著作物 の利用に付随する利用等 (新47条の4)	(キャッシュ等関係) ① 電子計算機におけるキャッシュのための複製 ② サーバー管理者による送信障害防止等のための複製 ③ ネットワークでの情報提供準備に必要な情報処理のための複製等 (バックアップ等関係) ① 複製機器の保守・修理のための一時的複製 ② 複製機器の交換のための一時的複製 ③ サーバーの滅失等に備えたバックアップのための複製
第2層 (権利者に及ぶ不利益が軽微な行為類型)	新たな知見・情報を創出す る電子計算機による情報処 理の結果提供に付随する 軽微利用等(新47条の5)	① 所在検索サービス ② 情報解析サービス ③ ①②のほか、電子計算機による情報処理により新たな知見・情報を 創出する行為であって国民生活の利便性向上に寄与するものとし て政令で定めるもの

## 2. 教育の情報化に対応した権利制限規定等の整備(第35条等関係)

現行法上、教育機関の授業の過程における著作物の利用について、①対面授業のために複製すること、②対面授業で複製等したものを同時中継の遠隔合同授業のために公衆送信することは無許諾・無償とされているが、情報通信技術の活用による教育の質の向上を図るため、権利制限規定の拡充が図られることになった。具体的には、「③学校授業の予習・復習用に教材をメール送信する行為や学校

授業のオンデマンド送信など、②以外の公衆送信」も権利制限対象となる。他方、現行法上、既に権利制限規定が設けられている①・②の行為は従前どおり無許諾・無償を維持しつつ、新たに無許諾で利用が可能となる③については、文化庁長官が今後指定する管理団体への一元的な補償金(授業目的公衆送信補償金)支払いが必要となる。

## 3. 障害者の情報アクセス機会の充実に係る権利制限規定の整備(第37条関係)

マラケシュ条約[\*3]締結のための必要な規定整備として、視覚障害者等が対象となっている現行の権利制限規定を見直し、肢体不自由等により書籍を持っていない者のための録音図書の作成等も許諾なく行えるようにする。

## 4. アーカイブの利活用促進に関する権利制限規定の整備等(第31条、第47条、第67条等関係)

### ○作品の展示に伴う美術・写真の著作物の利用

美術館等の展示作品を解説・紹介するにあたり、現在は小冊子(紙媒体)への掲載について、権利者の許諾は不要とされているが、改正後は、タブレット端末等の電子機器で美術・写真の著作物を閲覧可能にすることも許諾なく行えることとなる。また、インターネット等で展示作品の情報提供を行う際も、必要と認められる限度において当該著作物のサムネイル画像等の公開を可能とする。

### ○著作権者不明等著作物の裁定制度[\*4]の見直し

国及び地方公共団体等が裁定制度を利用する際における補償金の供託を不要とし、権利者と連絡がとれたときに補償金を支払うことで足りるように変更する。

### ○国立国会図書館による外国の図書館への絶版等資料の送信

絶版等の理由で入手困難な著作物について、現行法上、国会図書館は、権利者の許諾を得ずに日本各地の公共図書館等に当該資料を自動公衆送信できるが、改正後は、外国の図書館への自動公衆送信も許諾なく行えるようになる。

[\*3]盲人、視覚障害者その他の印刷物の判読に障害のある者が発行された著作物を利用する機会を促進するためのマラケシュ条約

[\*4]著作権者不明等の場合において、文化庁長官の裁定を受けて補償金を供託することで、著作物を利用することができる制度

## レコーディングスタジオ体験学習を実施

当協会が中学生・高校生を対象に実施するレコーディングスタジオ体験学習は、本誌4月号特集でも掲載の通り、都内にある3つのレコーディングスタジオ(ビクタースタジオ、キング関口台スタジオ、ソニー・ミュージックスタジオ)ご協力のもと、2016年11月より随時開催している。

近年では、キャリア教育の一環として学生の修学旅行プログラム内に企業訪問を取り入れるケースも多く、特に5月～6月は当協会への職場訪問も含め申込みが毎年増加傾向にある。本ページでは、5月に各レコーディングスタジオで実施された体験学習の様子をまとめて紹介する。

### 5/10(Thursday)ソニー・ミュージックスタジオ

参加校:富谷市立富谷中学校(宮城県)3年生5名

スタジオご担当者:レコーディングエンジニア 松尾順二氏

#### ～参加した学生から寄せられた感想～

「スタジオで音楽や楽器の音を聴くと、家やイヤホンで聴く場合と違い他の関係ない音がないため、きれいに耳に入ってきてすごい迫力だった」  
「スタジオ内の設備は全てにおいてこだわりを感じた」



建物の歴史やこの後見学するレコーディング、コントロールルームおよびこの場所以外の設備について紹介。



ミュージシャンが使用するピアノを試奏することに。今まで弾いてきた楽器との違いを直に感じとっていた。



普段はスマートフォンなどで楽曲を聴くことが多いという生徒たち。スタジオの環境で耳にする音楽は「1つ1つの楽器がよく聴こえる」と感動した様子だった。

### 5/16(Wednesday) キング関口台スタジオ

参加校:桑名市立陽和中学校(三重県)3年生6名

スタジオご担当者:経営本部長代理兼管理統括部長 高橋邦明氏  
録音部長 増田晋氏

#### ～参加した学生から寄せられた感想～

「普段できない体験ができてとても感動した」  
「日頃から音楽をたくさん聴いているが、一曲を完成させるためにたくさんの人がかかわっていることは知らず、びっくりした」



実際のレコーディングの様子を再現。ブースを区切ってマイクを通して聴いた自分の声には違和感がある様子。



壁の素材や天井のモニュメントも、レコーディングの音の響き方を変える工夫の一つであることを説明。



ミックス体験では、あらかじめレコーディングされた音を調整して良いバランスに仕上げる作業に挑戦。細かい調整に難解な表情を浮かべていた。

### 5/24(Thursday) ビクタースタジオ

参加校:鯖江市東陽中学校(福井県)3年生11名、瑞穂市立棠南中学校(岐阜県)3年生8名

スタジオご担当者:エンジニアグループゼネラルマネージャー 山田幹朗氏  
営業グループ 粕谷尚平氏

#### ～参加した学生から寄せられた感想～

「実際のスタジオを見学でき、様々な話を聞くことで、今までよりさらに音楽に興味を持った」  
「少しの機材の差で音が違って聴こえることに驚いた。その微妙な調整が難しいことだと分かった」



毎回、冒頭にレコード協会より「音楽ができるまで」と「音楽創造のサイクル」について説明を行っている。



スタジオ内の各ブースを回りながら設備を紹介。レコーディング内容によって何種類ものマイクから合うものを選択するというこだわりにも驚きの表情をみせていた。



続いてコントロールルームに場所を移し、マイクの種類による音質の変化を実際の音を聴くことで理解していた。

▶レコード協会「中高生向け学習プログラムのご案内」 <http://www.riaj.or.jp/f/education/studio.html>

## サンプル盤・見本盤の回収～処理まで

### 1. サンプル盤・見本盤とは？

レコード会社が生産する試聴用の録音物（CD、CD-R、カセットテープ他、音楽が記録されるもの全て）。これらの録音物は、放送局、大手販売店、番組制作会社、評論家等にプロモーション等を目的にレコード会社が「貸与」しているため、所有権はレコード会社が有しており、権利者に無断で譲渡・売買を行うことはできない。

### 2. サンプル盤・見本盤の回収について

サンプル盤・見本盤の利用後の返却作業の効率化と産業廃棄物であるCD/DVDなどの光ディスクのリサイクル処理の促進、および中古ショップやオークションサイトへの流出を防止するために、タカセ(株)の各地区倉庫を保管拠点とした回収を行っている。

### 3. 地区別返却先一覧

サンプル盤・見本盤の返却の際は、以下の最寄りの拠点まで送付。

地区	営業所・法人名	住所	電話番号
北海道	タカセ(株) 札幌営業所	〒061-3241 北海道石狩市 新港西2-787-2	0133-74-9211
東北	セイノースーパー エクスプレス(株) 仙台貨物センター	〒983-0001 宮城県仙台市 宮城野区港2-1-7	022-388-658
関東・東海 ・北陸	タカセ(株) 川崎営業所	〒210-0869 神奈川県川崎市 川崎区東扇島14-1	044-276-2320
近畿・中国 ・四国	タカセ(株) 大阪営業所	〒571-0039 大阪府門真市 速見町2-1	06-6901-0033
九州	タカセ(株) 福岡営業所	〒812-0894 福岡県福岡市 博多区諸岡3-23-12	092-573-2150

#### ※注意事項

送り先は「日本レコード協会 担当者」宛とし、備考欄に「日本レコード協会 見本盤返却CD在中」と記入の上、配送費元払いにて送る。

#### <送り状記入例>

送り先 〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島14-1 タカセ(株)川崎(営)内 日本レコード協会担当者 宛	品名 日本レコード協会 見本盤 返却CD在中
差出人	

### 4. 回収されたCD等の処理

全国5カ所の返却先にて回収された見本盤は全てタカセ(株)川崎営業所に集められ、開封・分別がなされる。続いて、所内の専用スペースにおいてマイクロ波照射装置に通す等メディア別に処理が施され、再生不可能な状態にする。こうして処理された後の見本盤はリサイクル工場へ送られ、再び資源として活用される。

見本盤CDは一枚ずつ手作業でマイクロ波処理装置にかけられ、3層構造になっているディスクの内部の層にひびを入れることで記録面を破壊し、再生不可能な状態にされる。また、VHSやカセットテープについては、磁力を打ち消すための強い磁石を使用した装置にかけることで記録を消去するなど、メディアによって処理の手法は異なる。



### 5. よくある質問

Q. アナログレコード、オーディオテープの返却も可能でしょうか？

A. 可能です。

Q. 発送にあたって、指定の梱包方法はありますか？

A. 特にありません。お手持ちの段ボールに詰めていただき、上記返却先までお送りください。

なお、段ボールをお持ちでない場合は発送用段ボール(ブーマランBOX)を手配いたしますので、お手数ですが日本レコード協会見本盤担当までご連絡ください。

▶ サンプル盤・見本盤の回収～処理 <http://www.riaj.or.jp/f/leg/sample/>

## OTOTEN開催

6月16日・17日の2日間、東京都千代田区の東京国際フォーラムにて、一般社団法人日本オーディオ協会（JAS）主催、当協会などの後援による、オーディオ関連商品が一堂に会するAV総合展示会「OTOTEN AUDIO・VISUAL FESTIVAL 2018」が開催された。

今回は「音にこだわる あなたを変える、2日間。」をテーマに掲げ、コンテンツと機器で「見せる、聴かせる、触らせる」=お客様との徹底したコミュニケーションの場として、ヘッドホン、ハイレゾカーAV（デモカー）、スマートフォン、ホームオーディオなど国内外のメーカー87社・団体が出展し、来場者は2日間で約17,000人となった。

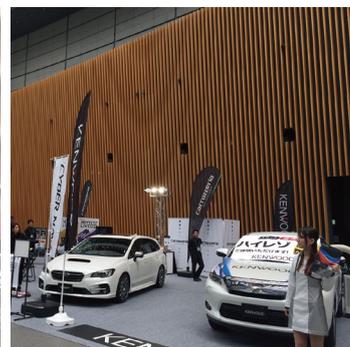
6月16日のオープニングセレモニーでは、主催のJAS校條亮治会長および次期会長に内定している小川理子副会長より、本イベントの経緯や見どころ・聴きどころ、業界としての今後の展望などが語られたほか、経済産業省の成田達治情報産業課長、NHK放送技術研究所の今井亨副所長も登壇し、あいさつを述べた。続いて開催された基調講演では、NHK放送技術研究所の今井亨副所長による「スーパーハイビジョンで進化する放送技術～8K超高精細映像と22.2マルチチャンネル音響の体感～」と題し、本年12月からの4K・8K「スーパーハイビジョン」本放送開始を前に技術の解説や魅力の紹介がなされた。

当協会は、今年のメインコンテンツの一つである「アナログレコード」の展示等に協力。ディスクユニオンは「アナログレコード祭り」と題し、LPジャケットの展示・即売会を実施した。また、同エリアでは、さまざまなアナログプレーヤーからヘッドホンで音の聴き比べができるLPレコード視聴体験コーナーや、東洋化成株式会社によるアナログレコード制作過程の紹介、株式会社ナガオカによるレコード針や過去に販売された児童向けレコードの展示も行われた。

ほかに、「ミニライブ&トークセッション」や「スタンプリリー」といった大人から子どもまで楽しめる企画が実施されるなど、従来のオーディオファンのみならず幅広い音楽ファンに向けても魅力的な展示会となり、訪れた人々が各メーカーのブースを熱心にまわり担当者に質問をする様子が随所で見受けられた。



OTOTEN入場受付の様子



ハイレゾカーオーディオ試聴体験



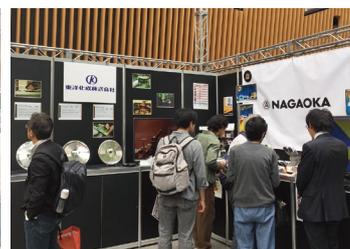
オープニングセレモニーの様子



満席となった基調講演



アナログレコード祭りのLPジャケット展示



東洋化成、ナガオカによる展示の様子



### 「OTOTEN AUDIO・VISUAL FESTIVAL 2018」概要

会場：東京国際フォーラム（所在地：東京都千代田区丸の内3丁目5-1）  
 会期：2018年6月16日（土）10:00～19:00、6月17日（日）10:00～16:00  
 入場料：無料  
 公式サイト：<http://www.oto10.jp/>

【主催】一般社団法人 日本オーディオ協会 【後援】経済産業省、NHK、一般社団法人電子情報技術産業協会、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本音楽スタジオ協会、一般社団法人日本音響学会、一般社団法人日本映像ソフト協会、株式会社共同通信社、一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム（順不同） 【協賛】真空管オーディオ協議会、株式会社アイエー出版、株式会社音楽出版社、株式会社音楽之友社、株式会社音元出版、株式会社ステレオサウンド、株式会社誠文堂新光社、株式会社電波新聞社（順不同） 【特別協賛】株式会社ビックカメラ 【企画・運営】「OTOTEN 2018」実行委員会

# 私わたし の season2 一枚いちまい



## 吉村 隆

株式会社ポニーキャニオン 代表取締役社長



### 「Let me Roll it!」 L⇌R

※上のジャケットは「25th Anniversary Complete Edition」です

音楽業界に身を置く者にとってこのような企画は、たぶん多くの皆さんも同じかと思いますが、自分にとっての一枚を決めるのはかなり至難なことではないでしょうか。

感受性の強かった若い頃に聞いてきた音楽は、大袈裟かもしれませんが、当時の自分の生き方に大きな影響与えてくれたので、今でもその音を耳にすると、一瞬でその当時は思い起こさせてくれます。そんな音楽が自分にはたくさんありますし、大好きでこの道に入った自分にとって、これだという一枚を決めるのは正直なところ難しいものがあります。

初めて買ったシングルはスパイダースの「夕陽が泣いている」、アルバムは当時ラジオからよく流れていた「ヘイ・ジュード」に魅了されて買ったビートルズのコンピアルバム。その後は、友達のお兄さんに影響されて当時の言葉でいうヘビーロックにはまり、それからプログレやロックンロール、R&B、バブルガムサウンド、ウエストコースト、サザンロック、クロスオーバーなどなど、洋楽を中心にたくさんの音楽に浸りました。又、好きなアーティストが見つかるとそのルーツを掘り下げる聞き方をしていたので、モータウンや

1950年代の音楽も聴くようになりました。勿論、60年代～80年代の邦楽もたくさん聴いていたのですが、この仕事をするようになってたくさんのアーティスト、ミュージシャンと接するようになり、そのライブを見たりしているうちに、自分の音楽的なルーツでもありますが、ビジネス的にもやっぱりこの仕事にはPOPなサウンドのシングルヒットが必要だなんて思うようになっていきました。

そんなときに会ったのが、ちょうど渋谷系音楽が全盛であった頃の「L⇌R」でした。

1991年にポリスターからデビューしたこの3人組のバンドは、とにかく初期のビートルズや、昔チャートを賑わしていたヒット曲に共通する3分前後の曲ばかり。POPセンス溢れるシングル要素満載な楽曲は一聴で虜になりました。当時、弊社はアイドルのポニーキャニオンと言われる会社でしたが、上長にはこれからは「L⇌R」のようなこういうPOPな音楽をもっとやるべきだと進言したことを覚えています。

その後、縁あって「L⇌R」は当社に移籍することになるのですが、その進言した上長から「お前が担当してみる」と言われた時は、初めてこの会社に入ってよかったと思った瞬間でもありました(笑)。しかし外から見ると担当するのは大違い。月9の主題歌のヒットはありましたが、その曲を含むアルバム「Let me Roll it!」の制作、プロモーションは苦労の連続でした。結果として素晴らしいアルバムに仕上がリ、売上げも50万枚を超えたこのアルバムは、私にとってアーティストとともに苦労して作り上げたという意味では大事な「私の一枚」です。ただバンドのフロントマンであった天才「黒沢健一」は、今はもうこの世にはいません。そういう意味でも私にとってこの「Let me Roll it!」は忘れられない一枚となっています。

# Monthly Production Report 2018年5月度レコード生産実績



5月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比108%の1,906万枚・巻、金額で同99%の208億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比117%の1,363枚・巻、金額で同116%の145億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比91%の543万枚・巻、金額で同75%の64億円となっている。

## オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	5月実績						2018年1月~2018年5月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	1	0	73%	1	0	67%	12	0	82%	8	0	84%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
	計	1	0	73%	1	0	67%	12	0	81%	8	0	83%
12cmCD シングル	邦	6,225	46	113%	4,668	32	111%	21,128	36	101%	16,791	26	103%
	洋	9	0	9%	10	0	10%	24	0	14%	24	0	13%
	計	6,234	46	111%	4,678	32	109%	21,152	37	100%	16,815	26	102%
シングル 計	邦	6,226	46	113%	4,669	32	111%	21,140	36	101%	16,799	26	103%
	洋	9	0	9%	10	0	10%	24	0	14%	24	0	13%
	計	6,235	46	111%	4,679	32	109%	21,164	37	100%	16,823	26	102%
12cmCD アルバム	邦	6,182	45	138%	8,520	59	134%	29,821	51	92%	39,865	62	92%
	洋	1,086	8	74%	1,051	7	65%	6,121	11	86%	6,349	10	88%
	計	7,268	53	122%	9,571	66	120%	35,942	62	91%	46,214	72	91%
CD計	邦	12,408	91	124%	13,189	91	125%	50,961	88	96%	56,664	88	95%
	洋	1,095	8	70%	1,061	7	62%	6,145	11	84%	6,373	10	86%
	計	13,503	99	117%	14,251	99	116%	57,106	99	94%	63,037	98	94%
アナログ ディスク	邦	29	0	147%	61	0	241%	244	0	119%	483	1	142%
	洋	38	0	119%	68	0	114%	208	0	118%	373	1	119%
	計	67	0	129%	130	1	152%	452	1	119%	856	1	131%
カセット テープ	邦	29	0	68%	28	0	74%	204	0	76%	166	0	73%
	洋	0	0	234%	0	0	211%	1	0	38%	2	0	56%
	計	30	0	69%	28	0	74%	205	0	75%	167	0	73%
その他	邦	9	0	93%	12	0	66%	55	0	96%	92	0	95%
	洋	18	0	157%	38	0	154%	104	0	120%	216	0	127%
	計	27	0	128%	50	0	116%	159	0	111%	308	0	115%
合計	邦	12,475	92	124%	13,291	92	125%	51,464	89	96%	57,404	89	95%
	洋	1,152	8	72%	1,168	8	65%	6,458	11	85%	6,963	11	88%
	計	13,626	100	117%	14,458	100	116%	57,923	100	94%	64,368	100	94%

## 音楽ビデオ

	5月実績						2018年1月~2018年5月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	4,031	74	89%	3,565	56	71%	16,263	75	91%	17,984	56	100%
	洋	16	0	25%	19	0	18%	152	1	56%	187	1	38%
	計	4,046	75	88%	3,584	56	70%	16,416	76	90%	18,171	56	98%
ブルーレイ ディスク	邦	1,382	25	104%	2,781	44	84%	5,062	23	125%	13,985	43	136%
	洋	3	0	6%	9	0	9%	110	1	107%	149	0	53%
	計	1,385	25	101%	2,790	44	82%	5,173	24	125%	14,135	44	133%
テープ・その他	計	0	0	0%	0	0	0%	0	0	57%	1	0	56%
合計	邦	5,412	100	92%	6,345	100	76%	21,326	99	97%	31,970	99	113%
	洋	18	0	17%	28	0	14%	262	1	70%	336	1	43%
	計	5,431	100	91%	6,373	100	75%	21,589	100	97%	32,306	100	111%

## 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	5月実績						2018年1月~2018年5月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	13,626	72	117%	14,458	69	116%	57,923	73	94%	64,368	67	94%	
音楽ビデオ計	5,431	28	91%	6,373	31	75%	21,589	27	97%	32,306	33	111%	
合計	邦	17,887	94	112%	19,636	94	104%	72,791	92	96%	89,374	92	101%
	洋	1,170	6	68%	1,196	6	59%	6,721	8	84%	7,299	8	84%
	計	19,057	100	108%	20,832	100	99%	79,511	100	95%	96,673	100	99%

## ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	5月実績						2018年1月~2018年5月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	6,655	72	90%	6,310	51	84%	29,160	74	81%	33,427	52	91%
ブルーレイディスク	2,561	28	114%	5,955	49	101%	10,429	26	111%	30,596	48	113%
テープ・その他	0	0	0%	0	0	0%	0	0	61%	1	0	58%
合計	9,217	100	95%	12,265	100	92%	39,590	100	87%	64,024	100	100%

## オーディオ/ビデオレコード合計

	5月実績						2018年1月~2018年5月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	13,626	60	117%	14,458	54	116%	57,923	59	94%	64,368	50	94%
ビデオレコード計	9,217	40	95%	12,265	46	92%	39,590	41	87%	64,024	50	100%
合計	22,843	100	107%	26,723	100	104%	97,513	100	91%	128,391	100	97%

備考 1.本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。  
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
3.オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 音楽ソフト

### シングル | 邦楽

ダブル・プラチナ	シンデレラガール	King&Prince	2018.05.23	ユニバーサル ミュージック
	Wake Me Up	TWICE	2018.05.16	ワーナーミュージック・ジャパン
プラチナ	早送りカレンダー	HKT48	2018.05.02	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	Crazy Rays / KEEP GOING	V6	2018.05.30	エイベックス・エンタテインメント
	進化理論	BOYS AND MEN	2018.05.09	ユニバーサル ミュージック
	Best My Friend	MAGIC PRINCE	2018.02.14	ユニバーサル ミュージック
	愛を頑張って	和田アキ子 with BOYS AND MEN 研究生	2018.05.23	テイチクエンタテインメント

### アルバム | 邦楽

プラチナ	GR8EST	関ジャニ∞	2018.05.30	ジェイ・ストーム(インフィニティ・レコーズ)
	ユーミンからの、恋のうた。	松任谷 由実	2018.04.11	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	HYBRID FUNK	ENDRECHERI	2018.05.02	ジャニーズ・エンタテインメント
	juice	Little Glee Monster	2018.01.17	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)

※日付けは発売日

## 有料音楽配信

### シングルトラック | 邦楽

ミリオン	プラネタリアム	大塚 愛	2005.09.14	エイベックス・エンタテインメント
ダブル・プラチナ	未来へ	Kiroro	2002.02.21	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
プラチナ	さよならエレジー	菅田 将暉	2018.01.07	ソニー・ミュージックレーベルズ (EPICレコードジャパン)
	グロテスク feat. 安室奈美恵	平井 堅	2014.04.23	ソニー・ミュージックレーベルズ (アリオラジャパン)
	ゲレンデがとけるほど恋したい	広瀬 香美	2003.02.26	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
ゴールド	一滴の影響	UVERworld	2017.02.01	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	even if	平井 堅	2004.08.05	ソニー・ミュージックレーベルズ (アリオラジャパン)
	いい日 旅立ち	山口 百恵	2010.01.24	ソニー・ミュージックダイレクト

### シングルトラック | 洋楽

ゴールド	ラヴ・ユアセルフ	ジャスティン・ビーバー	2015.11.13	ユニバーサル ミュージック
	ビューティフル・ナウ	ゼッド	2015.05.30	ユニバーサル ミュージック
	A WHOLE NEW WORLD (ALADDIN'S THEME)	PEABO BRYSON / REGINA BELLE	2005.12.26	エイベックス・エンタテインメント

※日付けは配信開始日

### 認定基準一覧 音楽ソフト(アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、シングルトラック・アルバム) 共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位:音楽ソフト・枚、配信、DL(ダウンロード数)  
備考 1. 着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰  
2. 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です  
3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

## 協会からのお知らせ

### 平成30年度(第73回)文化庁芸術祭参加作品の募集について

文化庁では、平成30年度(第73回)文化庁芸術祭の参加作品を募集しています。対象は「演劇」「音楽」「舞踊」「大衆芸能」の公演および「テレビ」「ラジオ」「レコード」の作品です。

参加公演・作品は、各部門で内容を競い合い、成果に応じて文部科学大臣より賞が贈呈されます。

詳細は、文化庁芸術祭のHPをご参照の上、奮ってご応募ください。

<http://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/jutenshien/geijutsusai/h30/index.html>



### 編集後記

出遅れながらも5月半ばからNHK『チコちゃんに叱られる』を見始めました。日常であまり気に留めることもなく「そういうものだ」と見逃してきたもののなんと多いことかと痛感しながら、チコちゃんの素朴な疑問に答えられない大人たちとともに手厳しく叱られつつも、楽しく視聴しています。チコちゃんの秀逸な受け答えや動作は勿論ですが、特にくるくる変わる表情豊かな顔のCG造形が非常に興味深く、見入ってしまいます。

6月も終わりに近づき、当協会でも受け入れている春からの中高生の企業訪問シーズンもひと段落しました。質疑応答のコーナーでは、先述の番組よろしく、社会人になって当たり前になってしまい見逃してきたような事柄への鋭い質問が寄せられることもあります。回答する側としてもハッと気づかされることが度々あり、年度のはじまりとともに改めて日々の業務を振り返る機会となりました。(M)

## THE RECORD No.704 2018年7月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文

編集人 原 康晴

発行日 2018年7月10日

発行 一般社団法人 日本レコード協会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階

TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313

URL:<http://www.riaj.or.jp>

編集協力 株式会社金羊社 / ヤマトカウンシル



エルマークキャラクター

エルマーくん

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら

当協会公式サイト(URL:<http://www.riaj.or.jp>)のお問い合わせページよりお寄せください。